

下野市長特別賞を受賞

高藤選手に下野市長特別賞が贈られました。このほか副賞に下野ブランド品（かんぴょうの八幡（やはた）巻き、かんぴょう入り五色餃子、日本酒・下野の国 五千石及び麦焼酎（下野）の詰め合わせと、下野市産の新米こしひかり「みやおとめ」3俵が贈られました。

また、この日高藤選手は栃木県庁を訪れ、「県スポーツ功労賞」を受賞しました。



高藤選手の強さの秘密を探る 「井上康生監督からの言葉はっ」

質問時間では、国分寺小学生と石橋中・国分寺中の柔道部員から高藤選手に「試合で焦らない秘訣は？」、「柔道を始めたきっかけは？」などの質問が投げかけられました。

国分寺中柔道部主将の石川君は高藤選手に「東京オリンピックで一緒に戦いましょう。」と固い握手をか

わしました。

また、この日司会を務めたFMラジオ「しもつけサタデーモーニング」パーソナリティの斉藤美貴さんからは、番組に届いたリスナーからの質問をしました。

「優勝したとき、何か井上康生監督から言葉がありましたか？」という質問に、高藤選手は「井上監督は小さいころから見えていたあこがれの選手。優勝した瞬間は抱き合い喜んだ。が、すぐに『ここがゴールじゃない』と言われた。」と、すでに次の大会に目を向けているようでした。高藤選手はあいさつや記者会見で、「世界選手権では一つひとつが厳しい戦いだった。しんどいと思った時に、地元下野市はリフレッシュできる場所。さらなる上をめざし、オリンピックでは前人未到の4連覇を目指したい。」と抱負を述べました。



世界柔道選手権での戦い

本場の強さを見せた

世界柔道選手権での優勝

8月26日から、ブラジル・リオデジャネイロで行われた「第31回世界柔道選手権」で60kg級男子に出場した高藤直寿選手。「もちろん日本選手として最初の試合という緊張はあった」との記者会見での感想とともに、「井上監督との約束があった。何が何でも金メダル、という気持ちがあった。」とその実直ともいえる気持ちの強さを表しました。

「金メダルを狙っていた」

日本勢の先陣をきって登場した高藤選手は、決勝までの4試合中、3試合で一本勝ちを収め、決勝でダシダワ選手（モンゴル）に優勢勝ちし、初出場で見事優勝を果たしました。

この階級の日本勢では1997年大会の野村忠宏選手以来となる金メダルを獲得しました。

実は高藤選手、2013世界柔道選手権の前、8月上旬に左太もも裏を負傷。準々決勝で悪化させ、準決勝前に痛み止めを飲む事態に陥っていました。持ち前の精神力の強さで苦難を乗り越え、優勝を勝ち取りました。

高藤直寿選手 経歴

平成5年5月生まれ

・むつみ愛泉幼稚園のとき、関東大会に出場した国分寺中学校の応援に行き、初めて柔道の試合を目の当たりにし、柔道にめざめた。国分寺小学校に入学と同時に、柔道を始める。
・小学校5・6年生と全国少年学年別柔道大会において軽量の部2連覇
・神奈川県立の東海大学付属相模高等学校に進学。3年生の全国大会で優勝。

・同高校進学。1年、全国高校選手権優勝、2年生・3年生とインターハイ連覇。

・2010年全日本ジュニア準優勝
・2012 東海大に入学
・2013 下野市民栄誉賞受賞

最近の国際大会

・2012 グランドスラム・モスクワ（ロシア）優勝
・2012 ワールドカップ タシケント（ウズベキスタン）優勝
・2012 東京グランドスラム 優勝

・2013 グランドスラム・パリ（フランス）優勝

・2013 ワールドマスターズ（ロシア・チュメニ）優勝

・2013 第31回世界柔道選手権（ブラジル・リオデジャネイロ）優勝

現在、全日本柔道連盟A強化選手
世界ランク 1位